



来年の花芽形成は7~8月のこの時期ですので、樹全体に十分な日光が当たるように新梢管理を行って下さい。薬剤防除の際は、SS運転に十分注意を払い、農作業事故の無いよう、防除を実施して下さい。

(特に雨の日の翌日はぬかるんでいる可能性があるため、注意して下さい)

今年の中野市全域で着果良好となっております。

園地の着果状況を必ず確認し、状況に応じて適正着果に努めましょう。

仕上げ摘果は遅くとも7月末までに実施して下さい。

病害虫防除

共通注意事項

- 1.隣接園（特に今後収穫期を迎える作物）に飛散しないよう十分注意して下さい。
- 2.散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行い、薬液が残らないよう注意する。

7月下旬の散布(7月20日~31日頃)

散布日	7月	日
散布量		ℓ

散布薬剤	水 100ℓ 展着剤 10ml オーソサイド水和剤80 100g (7日前、5回) 劇オリオン水和剤40 100g (21日前、1回)
対象病害虫	落葉病、炭疽病、すす点病、アザミウマ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類、カキノヘタムシガ、ケムシ類、イラガ類、カキノヒメヨコバイ
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する。
注意事項	*昨年、落葉病が発生した園地では必ず散布する。 *オーソサイド水和剤80に代えて、スコア顆粒水和剤(前日、3回)の3,000倍を使用しても良い。 *オリオン水和剤40は劇物登録農薬です。購入の際は印鑑を持参して下さい。

裏面もご覧下さい。

病害虫防除

8月上中旬の散布（8月10日～20日頃）

8月はカキノハタムシガ（ハタムシ）の重要防除時期となります。芽を食害した後に果実に食入するので、芽の食害痕が散見された場合は直ちに防除をしましょう。芽・果柄・ヘタに薬液がかかるよう丁寧に散布しましょう。

		散布日	8月	日
		散布量		ℓ
散布薬剤	水	100ℓ		
	展着剤	10mℓ		
	ダントツ水溶剤	50g	（7日前、3回）	
	トップジンM水和剤	100g	（前日、6回）	
対象病害虫	落葉病、炭疽病、うどんこ病、アザミウマ類、コナカイガラムシ類、カキノハタムシガ、カメムシ類			
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する			
注意事項	*前回から20日以内に散布する。 *アメリカシロヒトリの発生園は、アーデントフロアブル2,000倍（前日、3回）を加用する。			

●今後の管理について

*仕上げ摘果 …… 7月末までに仕上げ摘果を実施して下さい。

*新梢管理 …… 7月末までに新梢管理を実施して下さい。

*雑草管理 …… 主幹害虫対策として、根元は常にきれいにしましょう。
バスタ液剤（収穫前日まで、3回以内）
10a当り 水100～150ℓ、バスタ液剤500mℓ